

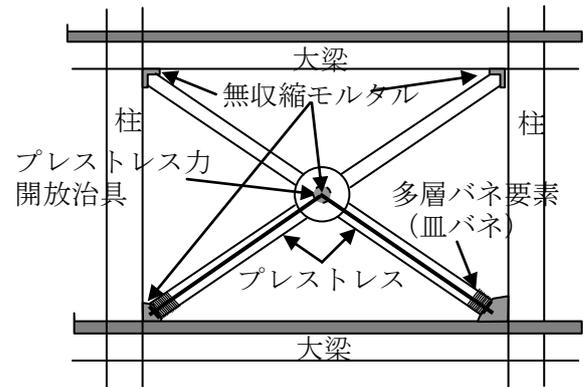
<p>【技術の名称】 自己圧着ブレース工法 -プレストレスの解放によってPCaブレースを既存骨組に圧着する耐震補強工法-</p>	<p>性能証明番号：GBRC 性能証明 第03-09号 性能証明発効日：2003年11月4日 【取得者】 自己圧着ブレース研究会 (代表会社) 株式会社竹中工務店</p>
---	--

【技術の概要】
 本技術は、プレストレスを導入した多層バネ要素を材端部に配置したプレキャスト鉄筋コンクリート造ブレース（以下、PCaブレースと略記する）を既存骨組構面内に設置し、その後、プレストレスを解放することによって既存骨組と圧着して一体化を図る耐震補強工法である。この多層バネ要素によって、ブレースが伸び変形を受けても、PCaブレースを既存の柱と梁の交差部に圧着する点が本工法の特色である。このブレースを自己圧着ブレースと呼んでいる。本工法によると、従来の枠付き鉄骨ブレースを増設する耐震補強工事で用いられるあと施工アンカーおよび四周枠は不要となる。

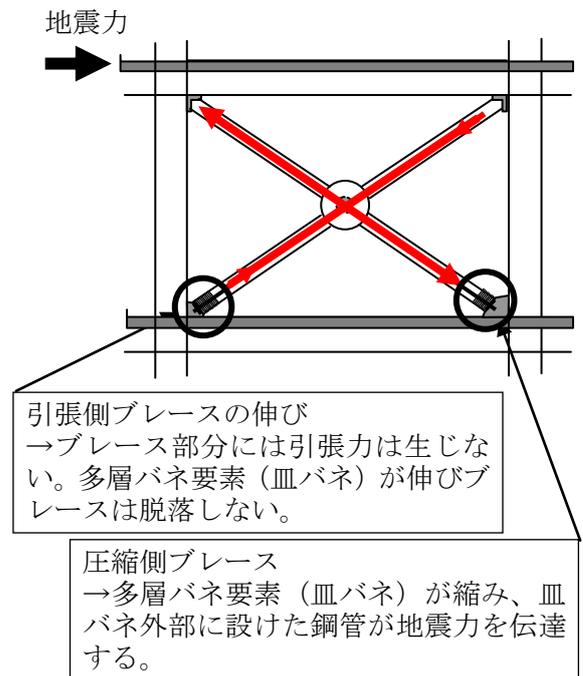
【技術開発の趣旨】
 従来の耐震補強工事では、多数本のあと施工アンカーの施工に伴う騒音、振動、塵埃や施工欠陥など種々の問題が発生する場合が多い。本工法は、これらの問題の解消を意図して開発されたものである。

【性能証明の内容】
 本技術についての性能証明の内容は、以下の通りである。
 本工法による自己圧着ブレースと既存骨組からなる耐震補強架構は、申込者提出の設計・施工指針で提示している終局耐力および変形性能（耐震診断において用いる靱性指標 F 値）を有すると判断される。

自己圧着ブレースの設置方法の概要



自己圧着ブレースの地震時の挙動



【本技術の問合せ先】

自己圧着ブレース研究会
 (代表会社) 株式会社竹中工務店 担当者：片山丈士 E-mail：katayama.takeshi@takenaka.co.jp
 〒541-0053 大阪市中央区本町4丁目1-13 TEL：06-6252-1201 FAX：06-6263-9730

自己圧着ブレース研究会 参加企業

ナガイ設計事務所、(株)ダイワ、(株)浅沼組、(株)大林組、(株)奥村組、鹿島建設(株)、五洋建設(株)、清水建設(株)、三井住友建設(株)、(株)銭高組、大成建設(株)、(株)フジタ、前田建設工業(株)、(株)松村組